

令和6年5月14日



武南高等学校進路通信 第5号

進路指導部

～医療系進路ガイダンスが行われました～

4月17日(水)および5月9日(木)放課後に3年生対象に医療系進路ガイダンスが行われました。看護や理学療法、薬学、臨床などメディカル系の道を少しでも志す生徒、延べ36名が参加し、熱心に聞いていました。終了後講師に直接質問する姿も見られました。

4月17日：医療系予備校 ena より「医療系入試のしくみと準備について」

5月9日：東京医療保健大学 より「医療系職業の実態と入試の準備」

～チーム医療が基本！一部の職種を理解だけではいけない～

両講座とも、自分が希望する以外の職業についての理解がなくてはいけないということを強調されていました。現代の医療は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、臨床工学、薬剤師、管理栄養士、医療情報(医療事務)、などすべての職業が関係し合って一人の患者と向き合っています。他の職業の理解がないと医療そのものが成立しません。ということは業種関係なく、入試において面接や小論文などでそういったこと知識や考え方が備わっているか、問われるということです。

「看護師希望だから看護師のことだけ調べれば・・・」では、すぐに見透かされてしまいます。

もちろん自分の希望する職種を深く理解しておくことは重要ですが、一つの病院がどういった医療体制・方針で患者と関わっているのかを調べておくことはとても大切であるというお話がありました。

～あなた自身の目標と覚悟～

「ボランティアや部活動などの課外活動は評価されますか？」という質問をした生徒がいました。

答えは「その活動自体の評価ではなく、あなた自身がそこから何が変わったか、何を得たかが大切」ということでした。「〇〇大会で優勝」「□□ボランティア参加」これは素晴らしい成績や実績ですが、それ自体が評価されるケースは少ないそうです。「その大会への準備の過程で何が大変だったか、何が改善されたのか」「何を目的にその活動に参加したか」というあなただけのエピソードが大切であることを強調していました。「大きな行事ではなく普段の、家族や友人との関わりのこと」「心がけていること」などを「あなただけの目標」や「それを通じたあなた自身の今後の覚悟」を語れるようになることがとても大切であることが話されました。

～参加アンケートの一部を紹介～

- ① つい目標を下げてしまいがちだけど自分が行きたいところに行けるように努力していきたい。
質問された時に自分の思ってることを言葉にして即答するのは難しいなと思った。
- ② 一般受験や公募推薦なども候補に入れた方が良いと分かり、面接や小論文の対策が大事だと感じました。また、英検を取得するなど、英語は特に勉強しなければならない教科だと思いました。今回のガイダンスを通して、志望校についてよく調べて情報を得ることや、最後まで目標に向かえる忍耐力が大切だと感じ、今からでも必死にやろうと思えたので、とても貴重な機会になりました。
- ③ 進路を決めてく上で小論文の書き方や面接の仕方などあまり調べていなかったので今回どのように対策すればいいのか、知ることが出来て良かったです。
また、入試の細かい詳細を見ることが出来て対策しやすくなりました。そして、英語は大学に行っても必要不可欠なんだなと思いました。
- ④ 私は付属の病院がある大学に行きたいと思っているんですけど、実習先の場所をもっとちゃんと調べようと思いました。また、小論文があることは知っていたけど、作文との違いとか練習が必要なことを聞いてちゃんと準備しなきゃと思いました。今日沢山資料を貰ったので、他の大学も含めて、自分で色々調べようと思いました。



医療系進路に限らず、自分が希望する道を「深める」行動を心がけよう！